



2025 年 10 月 7 日

各 位

会 社 名 株式会社日本色材工業研究所
代表者名 代表取締役社長 奥村 華代
(コード:4920 スタンダード市場)
問 合 せ 先 常務取締役企画・経理部長 霜田 正樹
(TEL. 03-3456-0561)

業績予想、及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、2025 年 4 月 11 日に公表しました 2026 年 2 月期（2025 年 3 月 1 日～2026 年 2 月 28 日）の第 2 四半期（中間期）及び通期の連結・個別の業績予想、及び配当予想を、下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正について

（1）2026 年 2 月期第 2 四半期（中間期）連結業績予想数値の修正（2025 年 3 月 1 日～2025 年 8 月 31 日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属 する中間純利益	1 株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	8,429	140	77	29	14.30
今回修正予想（B）	8,031	110	90	49	23.46
増減額（B－A）	△398	△29	13	19	
増減率（％）	△4.7	△21.3	17.2	63.7	
（ご参考）前年同期実績 （2025 年 2 月期第 2 四半期）	9,505	489	424	252	120.66

（2）2026 年 2 月期通期連結業績予想数値の修正（2025 年 3 月 1 日～2026 年 2 月 28 日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	16,877	411	276	411	196.23
今回修正予想（B）	16,462	243	133	321	154.06
増減額（B－A）	△414	△167	△142	△89	
増減率（％）	△2.5	△40.7	△51.7	△21.7	
（ご参考）前期実績 （2025 年 2 月期）	17,632	489	367	216	103.21

2. 個別業績予想の修正について

(1) 2026 年 2 月期第 2 四半期（中間）個別業績予想数値の修正（2025 年 3 月 1 日～2025 年 8 月 31 日）

	売 上 高	経 常 利 益	中間純利益	1 株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	5,823	165	123	58.80
今回修正予想（B）	5,743	209	158	75.57
増減額（B－A）	△80	44	34	
増減率（%）	△1.4	26.9	28.3	

(2) 2026 年 2 月期通期個別業績予想数値の修正（2025 年 3 月 1 日～2026 年 2 月 28 日）

	売 上 高	経 常 利 益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	11,282	242	410	195.72
今回修正予想（B）	11,500	275	429	205.69
増減額（B－A）	217	32	19	
増減率（%）	1.9	13.6	4.8	
（ご参考）前期実績 （2025 年 2 月期）	12,442	422	190	91.10

3. 業績予想の修正の理由

2026 年 2 月期の第 2 四半期（中間期）におきまして、化粧品業界では、新型コロナウイルス禍明けのメイクアップ製品を中心とした受注の波が前連結会計年度下期に沈静化した後、緩やかな需要の回復・改善傾向が続いております。

（個別業績）

当社におきましても、第 2 四半期（中間期）は、国内・海外の化粧品メーカーからの受注が前連結会計年度下期から回復傾向にある中で、売上高は前回発表予想値を若干下回るものの、クリーン・ビューティー等の当社処方が評価されて前連結会計年度に受注した大口新製品のリピート受注が継続していることもあって、利益面ではインフレによる各種費用増等を打ち返して、前回発表予想値を上回る見込みです。

2026 年 2 月期の通期個別業績予想につきましては、第 3・第 4 四半期の売上高は、第 2 四半期（中間期）並みとなる見込みで、第 3・第 4 四半期の利益は第 2 四半期（中間期）を若干下回る見込みですが、通期の個別業績につきましては、第 2 四半期（中間期）の業績嵩上げにより前回発表予想値を上回る見込みです。尚、2025 年 4 月 11 日に適時開示致しました固定資産の譲渡は第 3 四半期に実施しており、譲渡益を第 3 四半期に計上する予定です。

（連結業績）

連結業績の第 2 四半期（中間期）におきまして、フランス連結子会社である THEPENIER PHARMA & COSMETICS S.A.S. 及び Nippon Shikizai France S.A.S. は、医薬品及び化粧品の受注が低迷してユーロ建て・円換算後共に売上高が減収、加えて人件費や諸物価の高騰や一部新規設備稼働の遅れもあって両社合計として利益は予想を下回って赤字となる見込みです。連結業績では、売上高・営業利益は前回発表予想値を下回りますが、経常利益・親会社株主に帰属する中間純利益はフランス連結子会社の赤字を個別業績の黒字で打ち返して前回発表予想値を上回る見込みです。

2026 年 2 月期の通期連結業績予想につきましては、フランス連結子会社が医薬品及び化粧品の受注回復の遅れに加えて一部新規設備の立ち上がりが遅れている影響で通期業績も予想を下回る見込みで、通期個別業績予想の上乗せでまかないきれず、通期連結業績は売上高・利益共に前回発表予想値を下回る見込みです。

4. 2026 年 2 月期の配当予想の修正

(1) 修正の内容

	1 株当たり配当金		
	第 2 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
前回発表予想		20.00	20.00
今回修正予想		30.00	30.00
当期実績	0.00		
(ご参考) 前期実績 (2025 年 2 月期)	0.00	20.00	20.00

(2) 修正の理由

当社は、継続的かつ安定した配当を実現することを基本方針として、業績の進展状況に応じて利益配分を行っておりますが、新型コロナウイルス感染症のまん延による業績悪化で下がった自己資本比率を回復、財務安定性を回復させつつ持続的成長を実現していくことも必要と認識し、利益の水準と自己資本の充実に向けた内部留保の必要性双方を勘案した結果、2026 年 2 月期の配当予想金額は従来 1 株当たり 20 円とさせて頂いております。

今般の 2026 年 2 月期の連結業績予想は、フランス連結子会社の回復の遅れで前回の発表予想値を下回る見込みですが、新型コロナウイルス感染症の影響を脱して黒字基調が継続しており、自己資本比率も改善の傾向にあることを勘案し、2026 年 2 月期の配当予想を 1 株当たり 30 円としております（従来の予想は 1 株当たり 20 円）。

(注) 上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後発生する様々な要因により当該予想値と異なる結果となる可能性があります。

以上